

2017年12月7日
株式会社日立製作所
三菱電機株式会社

三菱電機の粒子線治療システム事業を日立に統合することで両社が合意

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)と三菱電機株式会社(執行役社長:柵山 正樹/以下、三菱電機)は、三菱電機の粒子線治療システム事業を日立に譲渡し、両社の事業を統合することに合意しました。今後、両社による詳細の協議と関係当局の審査・承認を経て、三菱電機の粒子線治療装置に関わる設計・製造・販売・保守事業を2018年4月に日立に統合する予定です。

粒子線治療は、外科治療等の他のがん治療法に比べて、治療による副作用が少なく、治療後の社会復帰も比較的早いと、有効な治療法の一つとして注目されています。2013年以降、粒子線治療システムは急激に増えており、世界の70以上の施設で稼働中の粒子線治療システムは、今後、世界各地域で毎年10施設以上の新規建設が見込まれています。日本では、2016年4月から、小児がんの陽子線治療と、骨軟部がんの重粒子線治療が保険適用となるなど、がん治療法の一つとして認知・普及が進んでいます。

日立は、粒子線治療システムで、日本、北米およびアジアの著名病院13施設から受注、そのうち8施設が稼働済みです。これまでに16,000名以上の患者が日立のシステムで治療を受けるなど、高い信頼性と実績を有し、グローバルに事業を進めています。また、米国のがん専門病院と放射線治療に関する共同研究を行うなど粒子線治療の普及に取り組んでいます。

三菱電機は、国内で粒子線治療や臨床研究が行われている医療機関17施設のうち9施設に粒子線治療システムを納入しています。より多くの患者を治療できる装置の提供と、粒子線治療施設の運営に必要な人材の育成支援や施設間の連携支援など、運用面も含めて粒子線治療の普及促進に取り組んできました。

両社は、粒子線治療がグローバルに拡大していく中、開発等のリソースの統合により事業競争力を高め、より高性能で高付加価値のある製品・サービスを提供していくことが不可欠と考え、検討を重ねた結果、幅広くヘルスケア事業を展開している日立への事業譲渡による統合が最適であるとの結論に達し、今回の合意に至ったものです。

今後、日立は新体制のもと、両社が培ってきた技術を活用し、最先端の放射線医療・がん治療に貢献していきます。

■本件お問い合わせ先

株式会社日立製作所 ヘルスケアビジネスユニット 放射線治療システム事業部
粒子線治療システム本部 [担当: 淵上、山下]
〒110-0015 東京都台東区東上野 2 丁目 16 番 1 号 上野イーストタワー
電話: 03-6284-3741(代表)

三菱電機株式会社 電力・産業システム事業本部 原子力・医療システム事業部
原子力・医療システム計画部 [担当: 伊藤、古里]
〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2 丁目 7 番 3 号 東京ビル
電話: 03-3218-2586(代表)

以上